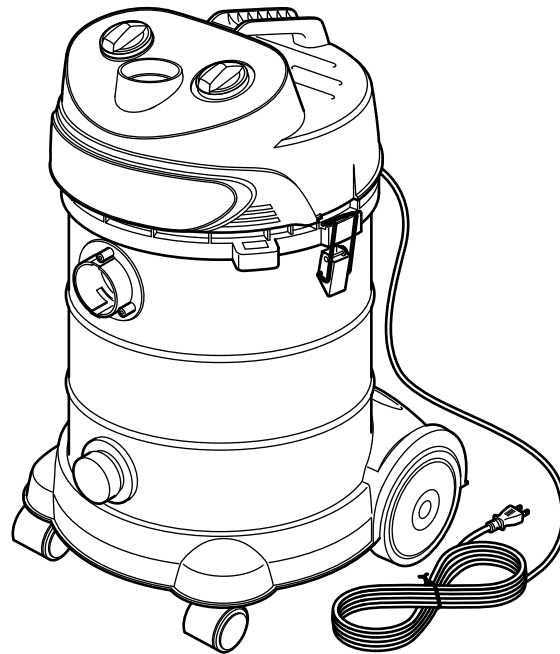


送風・集じん用 風圧電動工具

# ステンレスタンクバキュームクリーナ 30L



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

各部の名称と機能	2~3	使用方法	9~11
本体各部	2	操作方法	9
付属品	3	終了方法	10
安全上のご注意	4~5	ゴミの捨てかた	11
警告	4	保守と点検	12~14
注意	5	乾湿両用微粒子フィルタの交換	12
ご使用前の準備	6~8	本体・ヘッドのお手入れ	13
キャスタの取り付け	6	乾湿両用微粒子フィルタのお手入れ	13
本体・ホース・ノズルの組み立て	7	液体の排水について	14
接続方法【バキューム(集じん)作業】	8	故障かな?と思ったら	15
接続方法【ブロウ(吹き飛ばし)作業】	8	仕様	16
ノズルの準備	8		

このたびはステンレスタンクバキュームクリーナをお買い求めいただき、ありがとうございます。

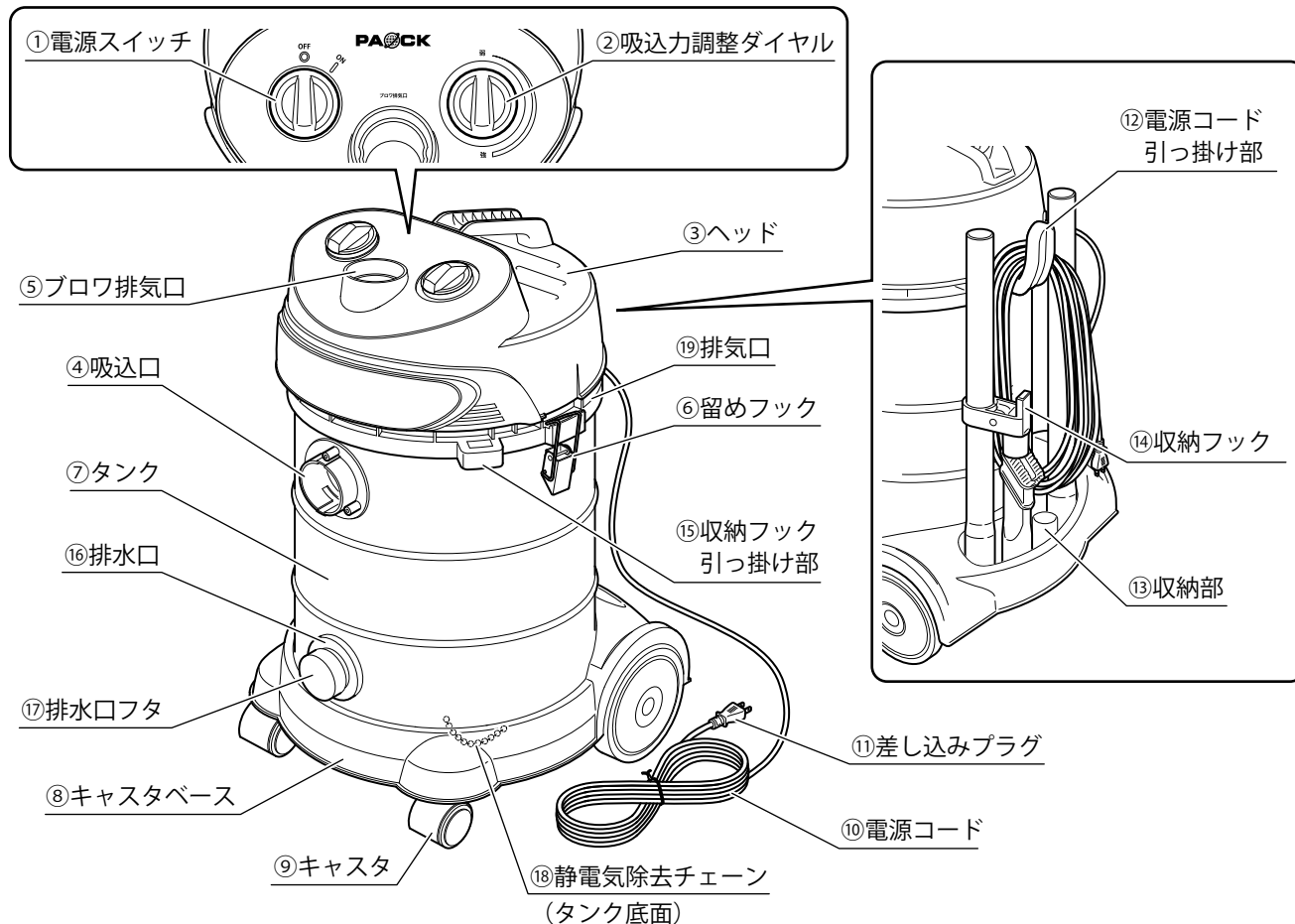
この商品は、強力な風圧を使い、吸い込み・吹き飛ばしを行う電動工具です。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に本取扱説明書を必ず読み、記載の手順に従ってご使用ください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる場所に、大切に保管してください。
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- 本取扱説明書の裏表紙は、保証書となっております。販売店より「お買上げ日・販売店名」などの記入があることをお確かめください。
- 当商品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは当社(下記・裏表紙記載)にご連絡ください。



# 各部の名称と機能

## ■本体各部



## 梱包内容の確認

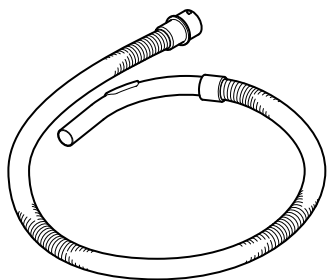
開梱後、下記の物が揃っているかご確認ください。不足している場合は、販売店または発売元までご連絡ください。

No.	名 称	機 能
①	電源スイッチ	電源のON/OFFの操作を行います。
②	吸込力調整ダイヤル	吸込力/風量の強弱を調整します。
③	ヘッド	モータなどが組み込まれています。
④	吸込口	集じん作業の時にホースを接続します。
⑤	ブロウ排気口	吹き飛ばし作業の時にホースを接続します。
⑥	留めフック	ヘッドとタンクを確実に固定します。
⑦	タンク	容量約30L(最大集じん容量 約21L)です。
⑧	キャスタベース	タンクにはめて使用します。
⑨	キャスタ	移動する時に便利です。(開梱時は取り付けられていません) <b>P6</b>
⑩	電源コード	電源コードです。
⑪	差し込みプラグ	差し込みプラグです。
⑫	電源コード引っ掛け部	保管時に電源コードをまとめて(束ねて)引っ掛けておくことができます。
⑬	収納部	ノズルやパイプを収納します。
⑭	収納フック	延長パイプに付いているフックです。
⑮	収納フック引っ掛け部	延長パイプの収納フックを掛けて収納できます。
⑯	排水口	吸水した水を排水する排水口です。
⑰	排水口フタ	水を排水する時に取り外します。
⑱	静電気除去チェーン	静電気を除去します。
⑲	排気口	モーター熱を排気します。

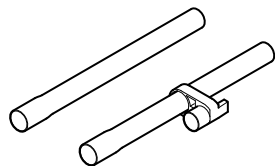


# 各部の名称と機能

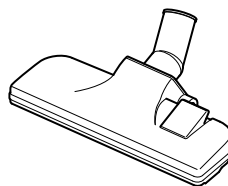
## ■付属品



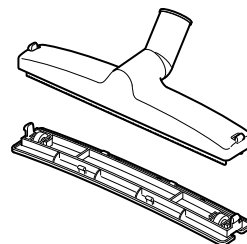
⑳スパイラルホース



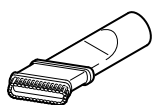
㉑延長パイプ



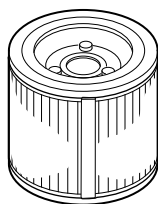
㉒フロアノズル



㉓ウェット&ドライノズル



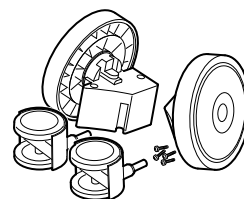
㉔ブラシノズルセット



㉕乾湿両用微粒子フィルタ+  
メッシュフィルタ  
(本体取付済)



㉖微粒子フィルタ用  
固定キャップ  
(乾湿両用微粒子フィルタ  
取付済)



㉙キャスタ  
(大2個、小2個、ねじ4本)

## 📦 梱包内容の確認

開梱後、下記の物が揃っているかご確認ください。不足している場合は、販売店または発売元までご連絡ください。

No.	名 称	機 能
⑳	スパイラルホース	集じんと吹き飛ばしの両方に使用します。
㉑	延長パイプ	長さが必要な時にホースに接続して使用します。
㉒	フロアノズル	フロア用のノズルです。
㉓	ウェット&ドライノズル	用途に応じてウェット用の先端とドライ用の先端を付け替えて使用します。 <b>P7・P8</b>
㉔	ブラシノズルセット	敷居やサンなどの清掃時に使用します。ブラシを外すとツル口ノズルとして使用できます。 <b>P7・P8</b>
㉕	乾湿両用微粒子フィルタ+ メッシュフィルタ	ゴミやホコリをろ過します。 <b>P12</b>
㉖	微粒子フィルタ用固定キャップ	微粒子フィルタを固定します。
㉙	キャスタ(大2個、小2個、ねじ4本)	移動用のキャスタです。開梱後に取り付けます。 <b>P6</b>

※付属品の一部はタンクの中に入っています。最初に付属品を取り出してください。

※付属品は、部品として別売りもございます。部品別売表をご参照ください。

### ■部品別売表

No.	部 品 名	品 番	入 数
⑳	スパイラルホース	VC-SH	1個
㉑	延長パイプL	VC-LEP	1個
	延長パイプL 収納フック付	VC-LEPH	1個
㉒	フロアノズル	VC-FN	1個
㉓	ウェット&ドライノズル	VC-WDN	1個
㉔	ブラシノズルセット	VC-BN	1セット
㉕	乾湿両用微粒子フィルタセット	VC-PF	1セット
㉖	微粒子フィルタ用固定キャップ	VC-PFC	1個
㉙	キャスタ 小	VC-SCA	2個
	キャスタ 大	VC-LCA	2個
㉚	キャスタベース	VC-CB	1個

# 安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分しています。

## 警告

『死亡や重傷を負う、または火災が発生するおそれがある内容』です。

## 注意

『傷害を負う、または物的損害が発生するおそれがある内容』です。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分しています。



してはいけない内容『禁止事項』です。



必ず実行していただく内容『強制事項』です。

## 警告



ガソリン、灯油、シンナー、ガスなど、引火性のあるもののそばでは使用しない。  
また、それらのものを吸わせない。  
・火災の原因になります。



燃えかす、煙草の吸殻など、火の気のあるもののそばでは使用しない。  
また、それらのものを吸わせない。  
・火災の原因になります。



金属粉やカーボンなど導電性のあるものは吸わせない。  
・火災や感電の原因になります。



ぬれた手で、差し込みプラグの抜き差しはしない。  
・感電やけがの原因になります。



濡れ手禁止

分解・改造を行わない。

・事故やけが、故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または発売元までご連絡ください。



分解禁止

電源コードの交換は行わない。

・事故やけが、故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または発売元までご連絡ください。



電源コードは乱暴に扱わない。

●電源コードを持って本体を運んだり、電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。  
●電源コードを熱、油、角のとがった所に近付けない。  
●電源コードに重い物を載せたり、挟み込んだりしない。  
・電源コードを傷め、断線、短絡（ショート）し、火災や感電の原因になります。



排気口や吸込口をふさいで使用しない。

・正常にモータ冷却がされず、火災や故障の原因になります。



使用中に、作業以外は近づけない。

・けがの原因となります。



泡や石けん水などは吸い込まない。

・排気口から泡などが吹き出し、感電や故障の原因になります。



フロートが作動したまま運転しない。

・液体を吸い込む場合、集じん容量（湿式）に達すると保護フロートが作動し、ホースからの吸引が強制的に止まります。そのまま使用するとモータ過熱により、部品の変形や火災、故障の原因になります。タンク内の排水を行ってください。



使用中に調子が悪くなったり、異常音が出たらすぐに使用を中止する。

・火災や事故の原因になります。お買い上げの販売店までご連絡ください。



使用電源は必ず銘板に表示してある電圧（単相交流 100V）で使用する。

・発火や故障、性能低下の原因になります。



定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。

・他の器具と併用すると、異常発熱による火災の原因になります。



使用前に、本機に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認する。

<異常・故障例>

- 電源コードや差し込みプラグが異常に熱い。
  - 電源コードに深いキズや変形がある。
  - コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
  - スイッチを入れても動かない等
- ・発煙、発火、感電、けがの原因となります。



不意な始動は避ける。

●差し込みプラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが OFF になっていることを確かめてください。  
・けがの原因となります。



子供の手の届かない所に保管する。

・けがの原因となります。



誤って落としたり、ぶつけたときは、本体などに破損や亀裂、変形などが無いことを点検する。

・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



本体を倒したり、横倒しの状態で使用しない。

・故障の原因になります。



転倒などによる本体の変形、破損防止のため、本体は静かに移動する。

・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



騒音対策を行う。








・騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規則があります。周囲の迷惑にならないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。  
・必要であれば遮音壁を設けて作業を行ってください。



# 安全上のご注意

必ずお守りください。

## ⚠ 注意

-  ガラスや針、刃物など尖ったものは吸わせない。  
・フィルタ損傷の原因になります。
-  破れたり、破損したフィルタは使用しない。  
・故障の原因になります。
-  本体に乗らない。  
・故障の原因になります。
-  使用後は毎回、タンク内のゴミを捨てる。  
・故障や性能低下の原因になります。
-  必ず各フィルタを取り付けた状態で使用する。  
・故障や性能低下の原因になります。
-  使用時以外はスイッチを OFF にして、差し込みプラグをコンセントから抜く。  
・火災、感電の原因になります。
-  各フィルタの清掃は使用ごとに必ず行い、目詰まりを防ぐ。  
・故障や性能低下の原因になります。  
※セメント粉や合成樹脂粉、コピー機のトナーなど、固まる恐れのあるものに使用した際は、必ず微粒子フィルタを洗ってください。目詰まりの原因となります。

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

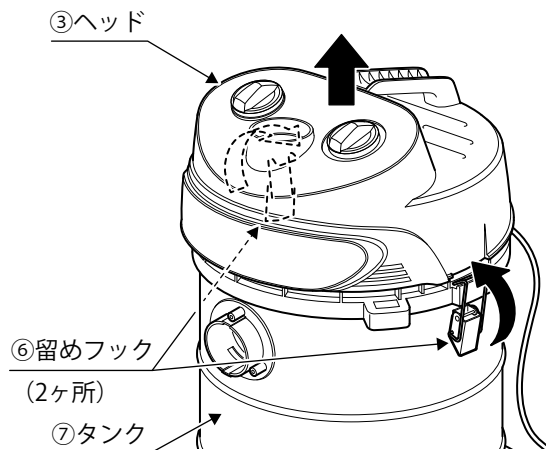
その他

# 📖 ご使用前の準備

❗ 付属品の一部はタンクの中に入っていますので、最初に付属品を取り出してください。

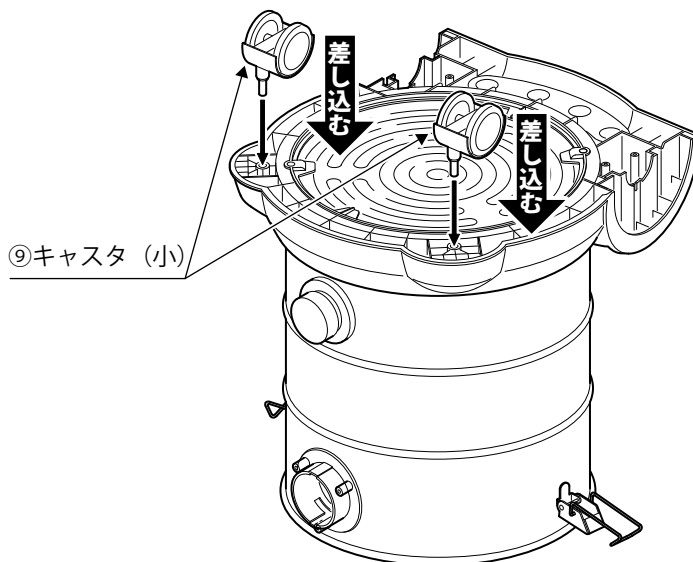
## ■ キャスタの取り付け

1 ▶ ヘッドを取り外して、タンクを逆さにします。



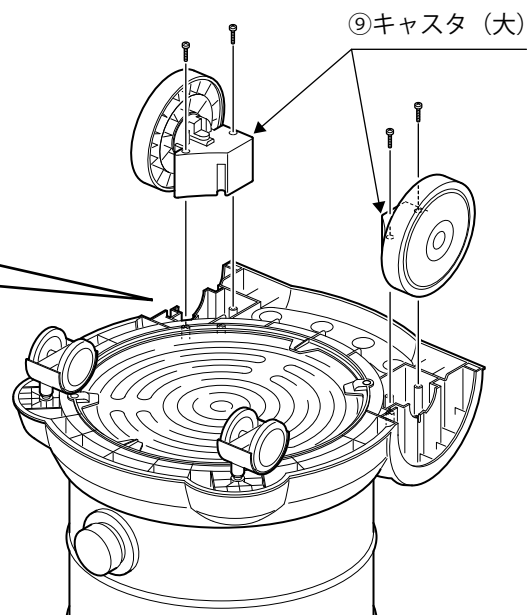
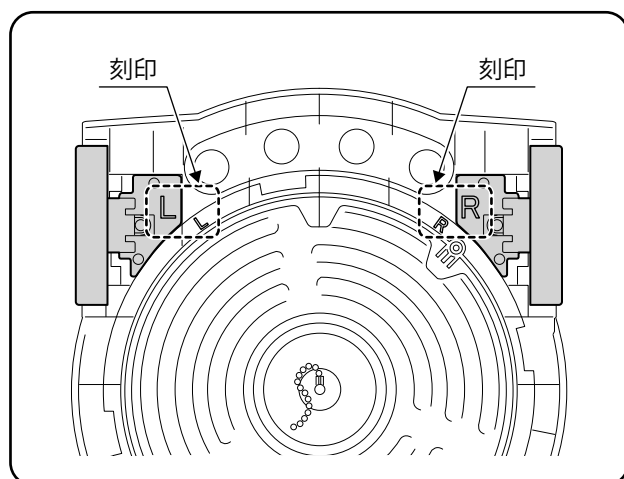
2 ▶ キャスタ(小)を図の位置に取り付けます。

● 奥までしっかりと差し込んでください。



3 ▶ キャスタ(大)を図の位置に付属のねじで取り付けます。

● L/Rの刻印がありますので、間違えないように取り付けてください。





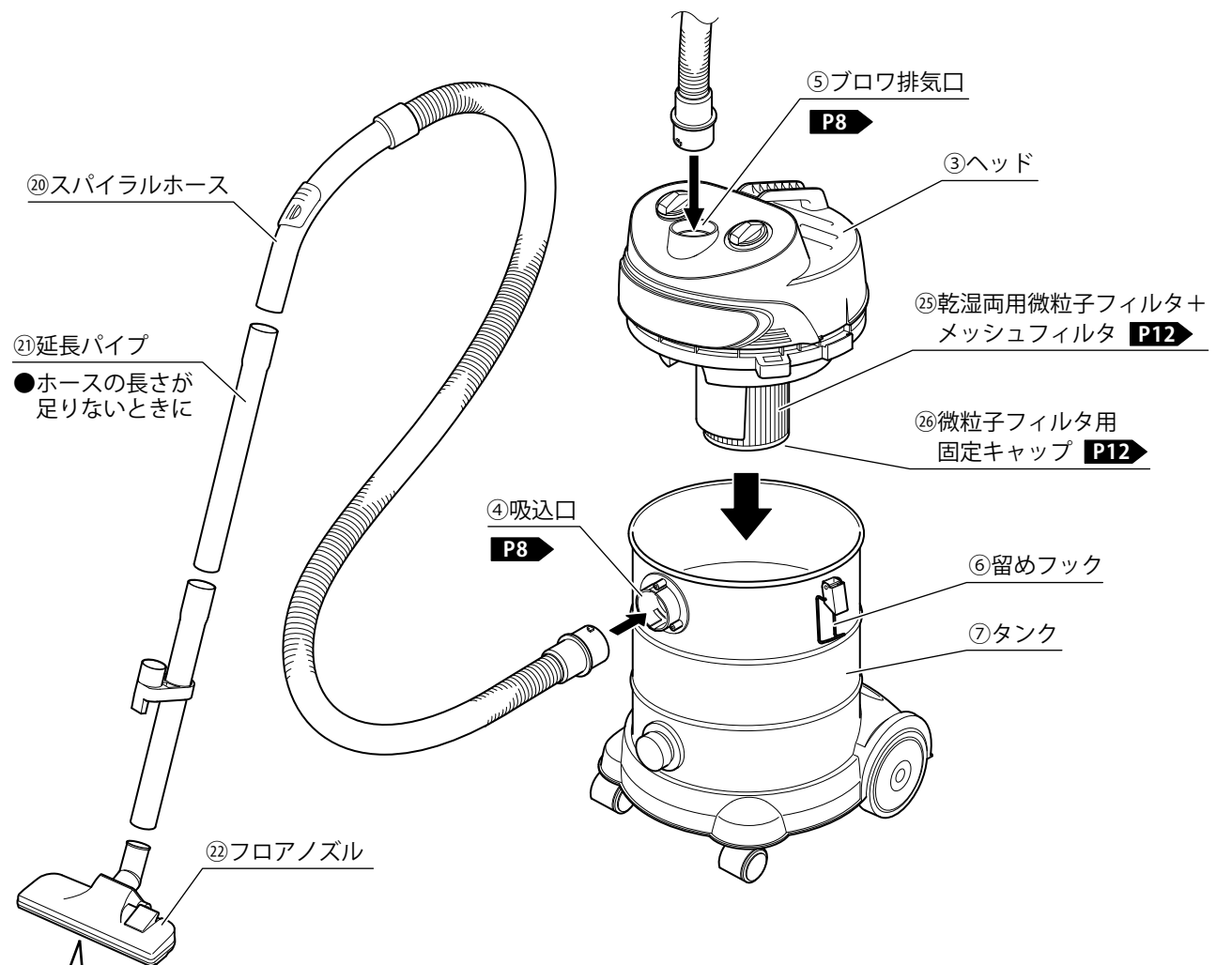
# ご使用前の準備

## ■本体・ホース・ノズルの組み立て

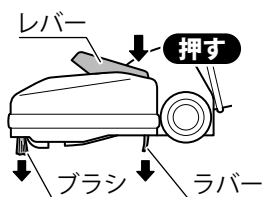
**1** 集じん作業の場合は吸込口に、吹き飛ばし作業の場合はブロワ排気口にスパイラルホースを接続します。

**2** 用途・作業に応じて各ノズルをスパイラルホース・延長パイプに取り付けます。

- 乾湿両用微粒子フィルタと、タンク内の吸込口が当たらないように取り付けてください。
- 留めフックとヘッドの固定位置を合わせて組み立ててください。

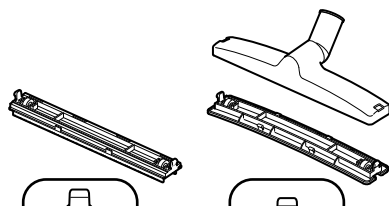


- レバーを押すとブラシとラバーが出ます。用途に応じて使用してください。



### ②③ ウェット&ドライノズル P8

- 液体、研磨屑、切り屑などに



### ②④ ブラシノズルセット P8

- 敷居やサン、狭い隙間などに



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

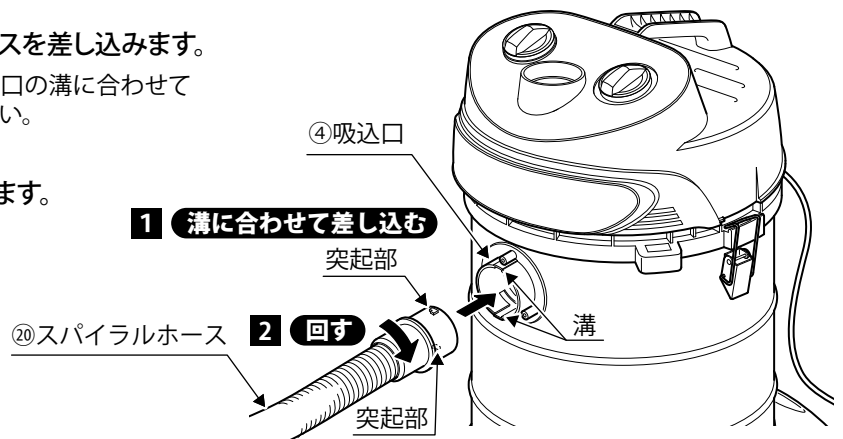
その他

# ご使用前の準備

## ■接続方法【バキューム(集じん)作業】

- 1 タンクの吸込口にスパイラルホースを差し込みます。
  - スパイラルホースの突起部を吸込口の溝に合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

- 2 スパイラルホースを回して固定します。



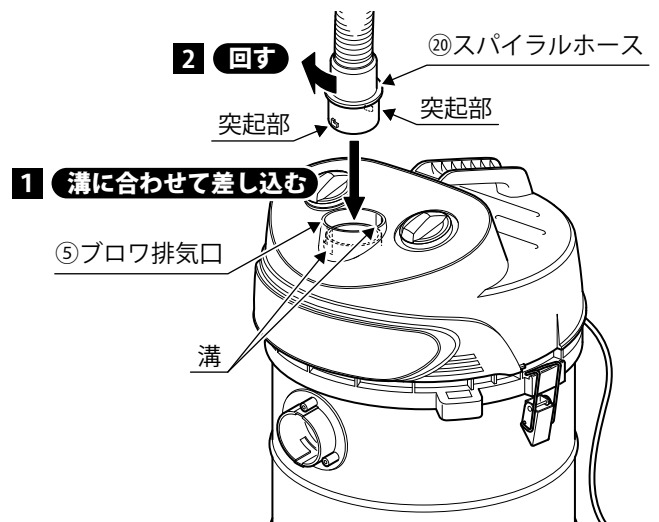
## ■接続方法【ブロウ(吹き飛ばし)作業】

- 1 ブロウ排気口にスパイラルホースを差し込みます。
  - スパイラルホースの突起部をブロウ排気口の溝に合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

- 2 スパイラルホースを回して固定します。

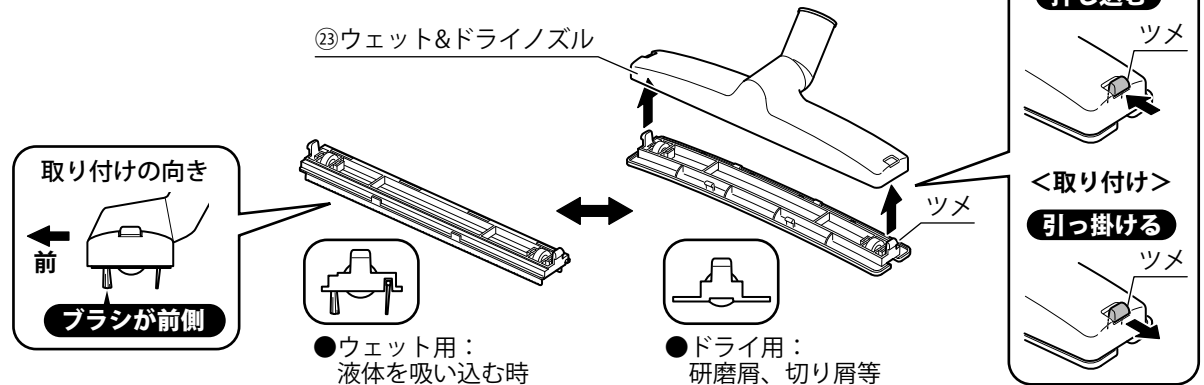


- スパイラルホースがきちんと固定されているか確認してください。ゆるんでいると使用中に外れる恐れがあります。

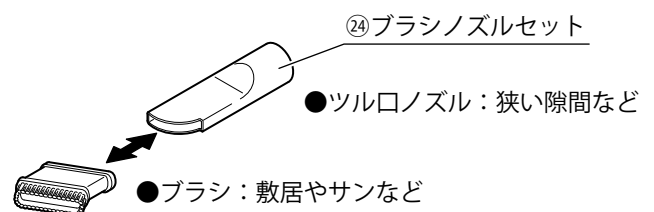


## ■ノズルの準備

- 1 ウェット&ドライノズルを使用する場合は、先端を用途に応じて付け替えます。



- 2 ブラシノズルセットを使用する場合は、先端を用途に応じて取り外します。







# 使用方法



以下のものは吸わせないでください。

- ガソリン、灯油、シンナー、ガスなど、引火性のあるもの。
- 燃えかす、煙草の吸殻など、火の気のあるもの。
- 金属粉、カーボンなど導電性のあるもの。
- ガラス、針など尖ったもの。



- 使用中は、電源コードに足や物を引っ掛けないようにご注意ください。
- タンク内のゴミは、放置すると臭いやカビ、サビなどの原因となるので、使用後は直ぐに捨ててください。臭いがとれない場合は、スパイラルホース、乾湿両用微粒子フィルタを交換してください。 **P12**
- タンク内に液体が入った状態で本体を倒してしまった場合、直ぐに電源を切り、使用を中止してください。

## ■操作方法

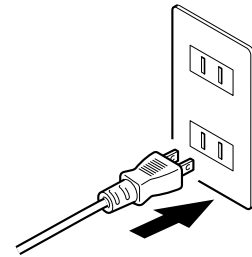
**1** 差し込みプラグを電源(AC100V)へ差し込みます。



ぬれた手で、差し込みプラグの抜き差しはしないでください。

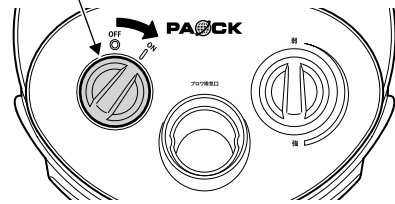


差し込みプラグを差し込む前に、電源スイッチをOFFにしてください。



**2** 電源スイッチをONにします。

①電源スイッチ

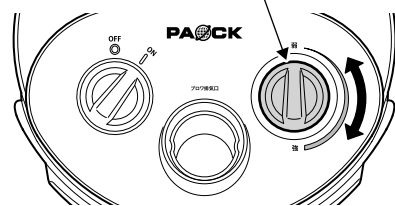


**3** 吸込力調整ダイヤルを回して、吸込力/風量を調整します。



作業に合わせて調整してご使用ください。

②吸込力調整ダイヤル

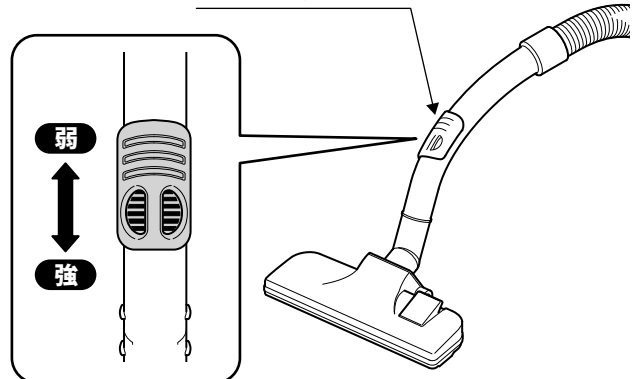


**4** スパイラルホースには、吸い込む力を微調整できるスライダがついています。



作業に合わせて調整してご使用ください。

吸込力調節スライダ



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

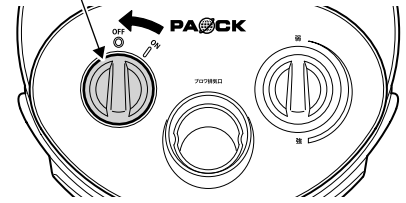


# 使用方法

## ■終了方法

**1** 電源スイッチをOFFにします。

①電源スイッチ



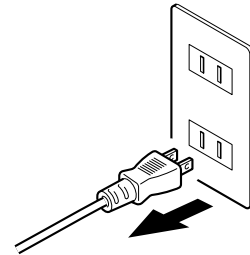
**2** 差し込みプラグを電源から抜きます。



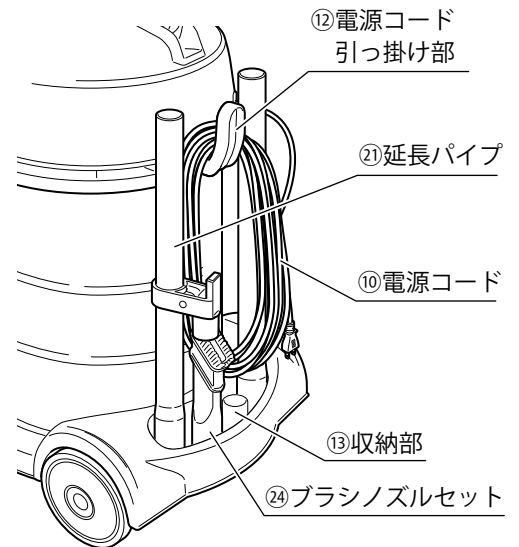
ぬれた手で、差し込みプラグの抜き差しはしないでください。



- 必ず差し込みプラグを持って、電源から引き抜いてください。
- 使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

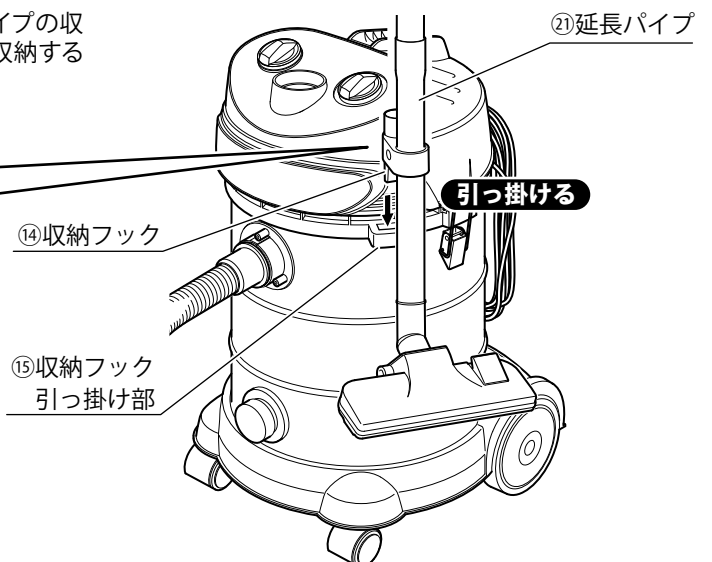
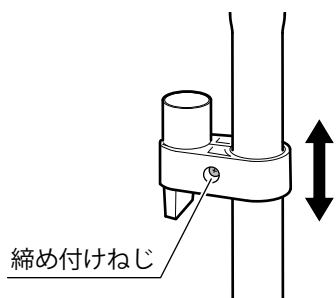


**3** 電源コードは束ねて、使用しない延長パイプ・ノズル類は取り外して収納します。



- スパイラルホースなどを取り外さずに、延長パイプの収納フックを収納フック引っ掛け部に引っ掛けて収納することも可能です。

締め付けねじをゆるめることで、収納フックの位置が調整できます。





# 使用方法

## ■ゴミの捨てかた

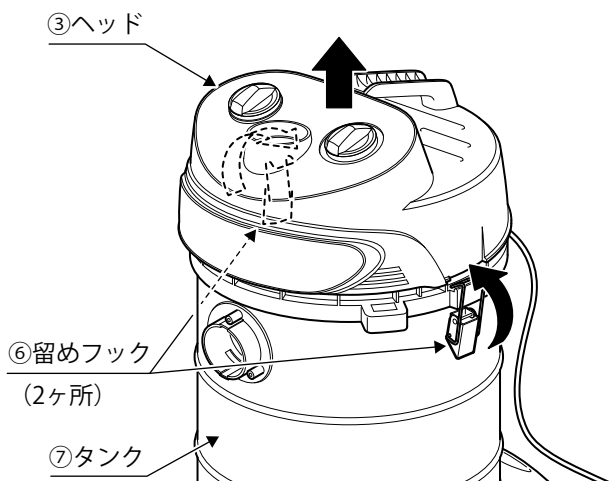


使用後は毎回、タンク内のゴミを捨ててください。  
タンク内のゴミを捨てる時は、フックを持たないでください。

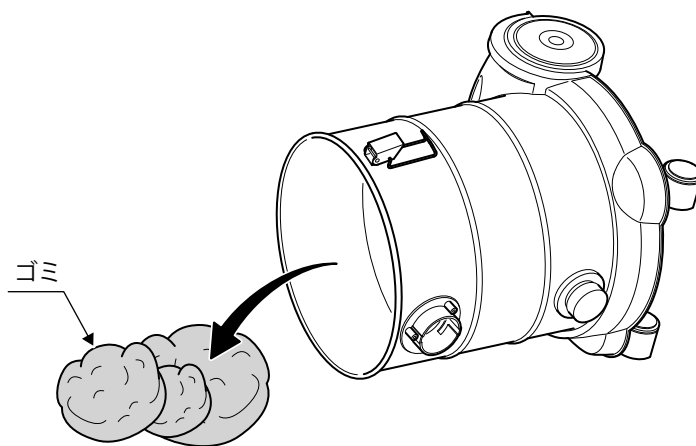


差し込みプラグが電源から抜いてあることを確認してから作業を行ってください。

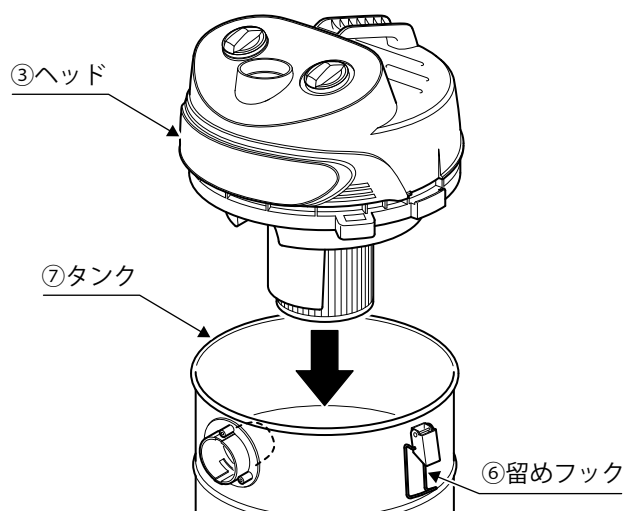
- 1** 留めフックを外して、ヘッドをタンクから取り外します。



- 2** タンク内からゴミを捨てます。



- 3** タンクにヘッドを取り付け、しっかりと留めフックを取り付けます。



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

# 保守と点検



雨にさらしたり、ヘッドに水がかかるような場所で作業しないでください。故障の原因となります。



- 本機の清掃または保守点検・整備の際には必ず電源スイッチを OFF にして、差し込みプラグを電源から抜いてください。
- フィルタはこまめに手入れを行ってください。
- 各フィルタの清掃は使用ごとに必ず行い、目詰まりを防いでください。  
※セメント粉や合成樹脂粉、コピー機のトナーなど、固まる恐れのあるものに使用した際は、必ず微粒子フィルタを洗ってください。目詰まりの原因となります。
- フィルタ類が、破れたり、破損や目詰まりしている場合は新しいフィルタに交換してください。 **P3**

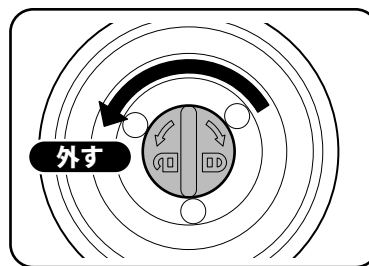
## ■ 乾湿両用微粒子フィルタの交換

1

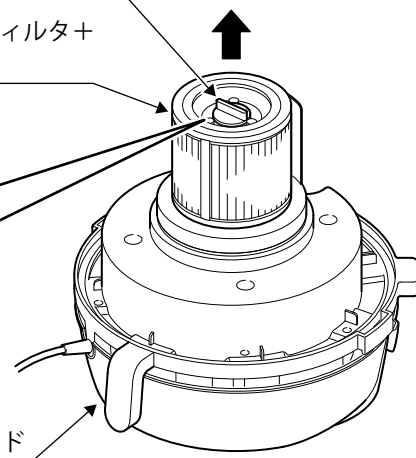
ヘッドを裏返し、微粒子フィルタ固定キャップをゆるめ、乾湿両用微粒子フィルタを外します。

②⑥ 微粒子フィルタ用  
固定キャップ

②⑤ 乾湿両用微粒子フィルタ＋  
メッシュフィルタ



③ヘッド



2

新しい乾湿両用微粒子フィルタをモーター部に差し込みます。

- モーター部の凸部を乾湿両用微粒子フィルタの凹部に合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

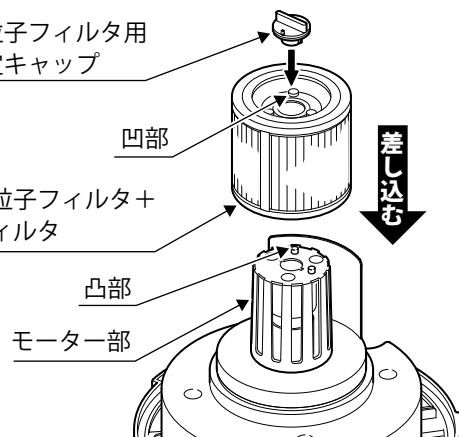
②⑥ 微粒子フィルタ用  
固定キャップ

凹部

②⑤ 乾湿両用微粒子フィルタ＋  
メッシュフィルタ

凸部

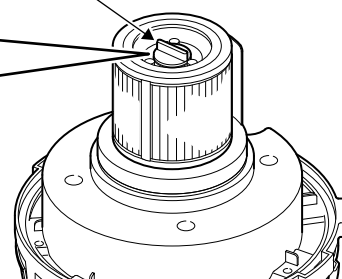
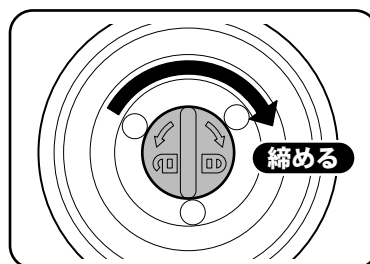
モーター部



3

微粒子フィルタ固定キャップを締めて、乾湿両用微粒子フィルタをしっかりと固定します。

②⑥ 微粒子フィルタ用  
固定キャップ



# 保守と点検

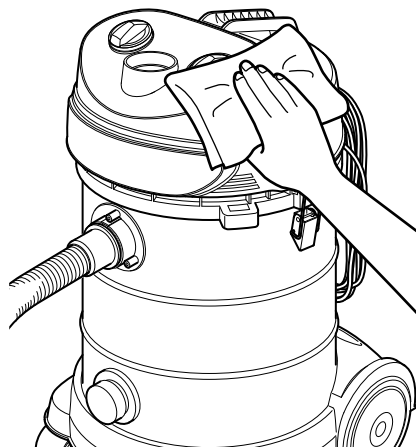
## ■本体・ヘッドのお手入れ

1 汚れは乾いた柔らかい布で拭いてください。

- 汚れのひどい時は、水で薄めた中性洗剤少量をやわらかい布に浸してよく絞って拭き、その後乾いた布で拭き取るときれいになります。



シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類では絶対に拭かないでください。



## ■乾湿両用微粒子フィルタのお手入れ

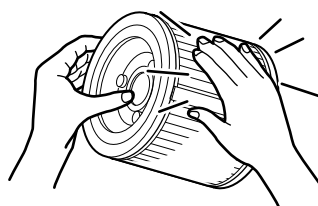


- 洗浄しても取れない目詰まりが起ってしまった場合には、フィルタの交換を行ってください。 **P3・P12**
- フィルタ目詰まりが起きている状態で使用すると、故障の原因となりますので絶対に行わないでください。
- 糸のほつれや破れなど、破損がひどくなってきた場合はフィルタの寿命です。フィルタの交換を行ってください。 **P3・P12**

1 通常は、フィルタ面を軽くたたいて、ちりを落としてください。



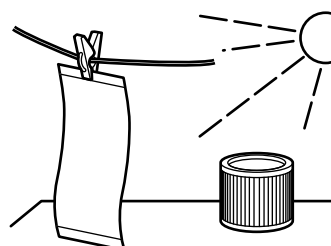
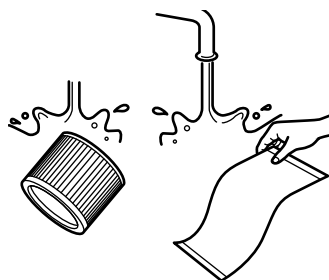
- 乾湿両用微粒子フィルタの清掃は、使用ごとに必ず行ってください。清掃せずに放置すると、フィルタ目詰まりを起し故障の原因となります。
- 湿気などによって固まってしまう粉じん（セメント粉、チョーク粉など）を吸い込んだ場合には、特にこまめな清掃を行ってください。



2 汚れて目詰まりがひどい場合は、メッシュフィルタを取り外して水洗いをし、しっかりと乾燥させてください。



- 水、ドロ水などの液体を吸引した場合は、使い終わったら必ずフィルタを水洗いしてください。
- また、完全に乾燥させてからお使いください。



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

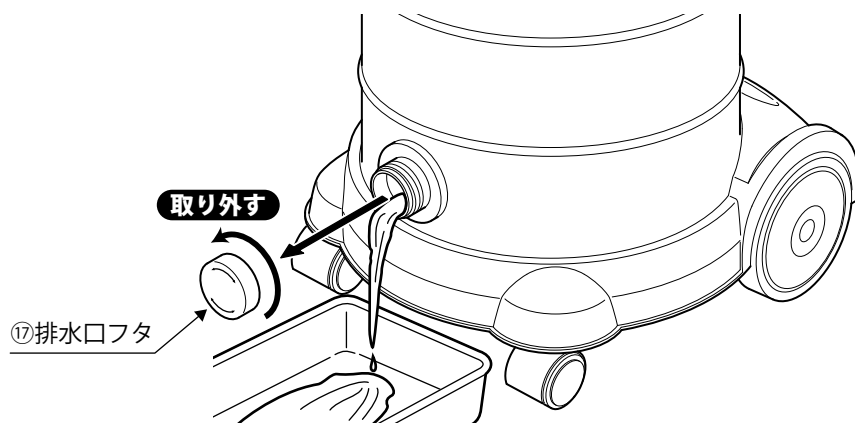
# 📖 保守と点検

## ■ 液体の排水について

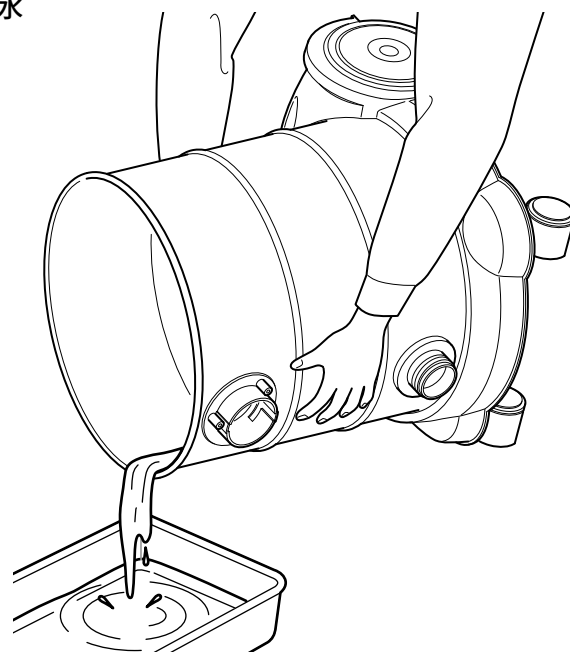
❗ 水などの液体を排水する際は、あらかじめ排水口から排水してください。

1 液体を排水しても差し支えない場所に移動するか、排水口の下に容器を置いてください。

2 排水口フタを取り外し、排水口から液体を排水します。



3 底に残った液体は、ヘッドを外し、本体を傾けて排水してください。





## 故障かな?と思ったら

●次のチェックリストに沿った点検を行ってください。

症 状	原 因	解 決 方 法
電源スイッチをONにしても作動しない。	①差し込みプラグが電源に接続されていない。	①差し込みプラグを電源にしっかりと差し込んでください。
吸い込まない、吹き飛ばさない	①延長パイプやホースの取り付け間違い。	①正しく取り付けてください。 <b>P7・P8</b>
作業効率が上がらない。	①ノズルやホース、延長パイプなどに異物が詰まっている。	①異物を取り除いてください。
	②乾湿両用微粒子フィルタに吸い込んだゴミが溜まっている。	②乾湿両用微粒子フィルタのゴミをこまめに取り除いてください。 <b>P13</b>
	③吸込口にゴミが溜まっている。	③吸込口周辺のゴミを取り除いてください。
	④タンク内がゴミや液体でいっぱいになっている。	④ゴミや液体を捨ててください。 <b>P11・P14</b>
作業中に吸込力/風量が落ちる。	①長時間使用している。	①電源スイッチをOFFにし、しばらく時間をあけてから使用してください。
本体が熱くなる。	①長時間使用している。	①電源スイッチをOFFにし、しばらく時間をあけてから使用してください。

※上記のチェックを行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または発売元までご連絡ください。お問い合わせや、ご連絡がないまま直接発売元に修理品などを送付されても、処理・対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

各部の名称

安全上の注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

## ■仕様

型 式	VCS-30RP
定 格 電 圧	AC100V
定 格 周 波 数	50/60Hz
最大消費電力	(強) 1,100W (弱) 500W
吸 込 仕 事 率	(強) 約170W (弱) 約60W
最大真空度	(強) 約15kPa (弱) 約9kPa
最大風量	(強) 約1.9m <sup>3</sup> /min (弱) 約1.4m <sup>3</sup> /min
運転音(騒音)	(強) 約85dB (弱) 約78dB
定 格 時 間	30分
絶 縁 方 式	二重絶縁 □
本体サイズ	約370×410×620mm
本体質量	約8.5kg(本体のみ)
集じん容量	乾式 約21L / 湿式 約13L
電源コード長	約7m
セット内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1台</li> <li>・スパイラルホース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1個</li> <li>・延長パイプ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2個</li> <li>・乾湿両用微粒子フィルタ+メッシュフィルタ(本体取付済)・・・・・・ 1個</li> <li>・微粒子フィルタ固定キャップ(乾湿両用微粒子フィルタ取付済)・・・・ 1個</li> <li>・フロアノズル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1個</li> <li>・ウェット&amp;ドライノズル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1個</li> <li>・ブラシノズルセット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1個</li> <li>・キャスト(大2個、小2個、ねじ4本)・・・・・・・・・・・・ 1セット</li> </ul>

## 保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な状態で使用し、故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

品 名	ステンレスタンクバキュームクリーナ 30L	お買い上げ日※	年 月 日	
型 式	VCS-30RP	保証期間	6ヶ月	
お客様※	〒 ご住所	販売店※	住 所 名 電話番号	
	ご氏名			様
	電話番号			- ( ) -

※印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。

## 1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理になります。

- ①本書の提示がない場合。
- ②本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは文字を書き替えられた場合。
- ③使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ④お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障及び損傷。
- ⑤火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- ⑥一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
- ⑦リサイクル業者や、使用者等による再販など、当社の責任範囲を超える場合。
- ⑧日本国外での使用。

## 2. 本書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

## 3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

発売元 **株式会社パオック**

〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21  
TEL:(0256)33-5574 FAX:(0256)33-5559  
URL <http://www.paock.co.jp>